

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

HSK

遊ぼうよ

No. 76



はり絵「鮭」(中崎拓大 作)



「障害者の人権におけるバリアフリーをめざす富山」

障害のある人の人権を尊重し 県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例

近年、「国連の障害者権利条約」の批准や国の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等が成立しました。各自治体では「障害者差別解消法の条例」が制定されてきました。富山県でも議会で「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が可決されました。

この条例について、内容と理解を深めるとともに、先進県の取り組みとして「障害者差別をなくすための千葉県条例」に関わってこられた経験からのお話を伺い、障害者の人権におけるバリアフリーをめざす富山のための学習会を行います。

《講師及び内容》

「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」について

..... 富山県障害福祉課

「障害者差別をなくすための千葉県条例」に関わってこられた経験から

..... 毎日新聞論説委員 **野澤 和弘** 氏

2015年 4月11日 (土)

会場：サンシップとやま 701号室

時間：13時00分(受付開始)～16時迄

参加費無料

どなたでも
関心のある方の
参加を
お待ちしております

野澤和弘氏のプロフィール

毎日新聞論説委員。早稲田大学法学部卒業後、毎日新聞社に入社し、2009年4月から論説委員を担当。厚生労働省、児童虐待班、障害者虐待取材班などを取材し知的障害者の権利擁護の第一人者として活躍中。千葉県障害者差別をなくすための研究会の座長として中心的役割を果たした。

著書「あの夜、君が泣いたわけ」「条例のある街ー障害のある人もない人も暮らしやすい時代に」「わかりやすさの本質」等。

- 13時受付
- 13時30分～13時35分 開会の挨拶
- 13時35分～14時05分 富山県障害福祉課
- 14時06分～15時36分 毎日新聞論説委員 野澤和弘氏
- 15時40分～16時00分 質疑応答
- 16時まで 終了

手話・要約筆記等が必要な方は、ご一報下さい。

主催：自立生活支援センター富山/後援：富山県・富山市

住所：富山市新川原町5-9 レジデンス新川原1F
電話：076-444-3753 FAX：076-407-5557

この企画は、富山市障害者相談支援事業の一環として行います

条約や条例が出来ていく中で

文責：平井誠一

障害者差別の禁止を規制する条例が国連や国・県の段階で作られてきています。確かに昔の何もなかった時代からすると大きな前進だと思います。

障害者差別というものを考える時に、昔の方が露骨な差別的事象が多かったと思います。割とわかりやすいのは、公共交通機関の設備問題だったり乗車拒否の問題だったり、ホテルや飲食店などの入店拒否がありました。

また、障害者に物を売らないことを企業として決めていたところもありました。そこでよくいわれたことは「障害者のくせに」という言葉だった。「何々出来ないと一人前じゃない」とか「こんなことも出来ないのに、一人前の口をきくな」といわれた時代。今の時代、障害者は「いいお客様」として扱われるようになったと思います。福祉では「利用者」として、また一般的な場では消費者としてお客様として認知度があると思います。

更には、今は選択肢が増えたと思います。入店拒否されても「他に行けばいい」という選択肢やネット販売という選択肢もあります。ある意味、これは障害者が嫌な思いをしなくなったということが言えるのかもしれませんが。福祉サービスによる就労場所も出来てきていることにより「一般企業よりも嫌な思いをしなくていい」という人もおられます。また「同じ障害者の中で優位に立てる」ことによって自分の存在感を誇示したがる人もいます。この選択肢は、もう一方で一般社会の障害者差別を隠蔽して行くことになってはいないだろうか。

もう一つは、介助される側・介助する側の間トラブル問題がある。お互いに理解し合う関係ではなく「仕事としてやっているんだから、そのくらい出来て当然、分かって当たり前」という利用者と「昨日できたのに今日出来ないのは怠けている」と取る介助する側。お互いに罵倒・愚痴・不満に終始してしまう関係になっていることが多いように感じます。この場合、相互に能力の限界を知り、障害や個性を理解することやお互いの人権尊重のなさがあるように思います。

私は、アメリカにおける黒人の差別をなくする公民権運動が頭に浮かびます。公民権法ができて50年が経った。運動として学ぶものがあり、私も障害者運動で取り入れてきました。しかし、現在のアメリカにおける現状は一方で大統領、もう一方で社会のあり方に疑問を持つ人々。そこに差別の根深さや能力主義的な社会の抱える根本的な解決の難しさがあるように思える。

マーティン・ルーサー・キングの「私たちには今日も明日も困難が待ち受けている。それでも私には夢がある。・・・」という演説で語ったように、夢の持てる社会であってほしいと思う。



自立生活支援センター富山の主な動き

<この間の活動報告>



11月 1日(土)	ポストポリオの集まり	高志リハビリテーション病院
11月 4日(火)	送迎	富山市内
11月 6日(木)	理事会	リーぶる事務所
11月 7日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
11月 7日(金)	富大講義	富山大学
11月14日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
11月14日(金)	富大講義	富山大学
11月15日(土)	送迎	富山市内
11月17日(月)	送迎	富山市内
11月18日(火)	相談支援従事者研修講師等情報交換会	隠れん房富山店
11月19日(水)	出頭ピアカン開催	高志ライフホーム
11月21日(金)	富大講義	富山大学
11月21日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
11月26日(水)	専門ワーキング出席	基幹相談支援室
11月28日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
11月28日(金)	第3回富山市内障害福祉サービス事業所研修会	障害者プラザ
12月 5日(金)	自立生活体験	自立生活体験室
~7日(日)		
12月 5日(金)	送迎	富山市内
12月 5日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
12月 6日(土)	ポストポリオの会交流会	自遊館
12月 6日(土)	送迎	富山市内
12月10日(水)	相談支援ワーキング出席	障害者プラザ
12月11日(木)	理事会	リーぶる事務所
12月11日(木)	送迎	富山市内
12月12日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
12月13日(土)	DPI障害者政策等討論集会出席	戸山サンライズ
~14日(日)		
12月15日(月)	送迎	富山市内

12月16日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
12月16日(火)	ケア会議開催	このゆびと~まれ
12月18日(木)	第2回自立支援協議会	富山市役所
12月18日(木)	ケア会議開催	リーぶる事務所
12月19日(金)	ケア会議開催	サンシップ富山
12月19日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
12月21日(日)	送迎	富山市内
12月22日(月)	理事会	リーぶる事務所
12月24日(水)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
12月26日(金)	送迎	富山市内
1月 4日(日)	送迎	富山市内
1月 9日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
1月11日(日)	送迎	富山市内
1月16日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
1月16日(金)	ケア会議開催	富山市内
1月19日(月)	送迎	富山市内
1月20日(火)	出張ピアカン開催	高志ライフホーム
1月20日(火)	送迎	富山市内
1月21日(水)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
1月21日(水)	ケア会議開催	アスタント
1月22日(木)	事務局会議	リーぶる事務所
1月26日(月)	送迎	富山市内



おいしいコーヒーの入れ方教室



この企画はNHK歳末たすけあい義援金をいただき、実施されました。

2月10日、富山生きる場センターでは大雪にもかかわらず、喫茶店「エコーレ」の尾塩さんを講師に迎え「おいしいコーヒーの入れ方教室」を開催しました。ふだん何気なく飲んでいるコーヒーですが、その栽培方法や焙煎方法などスライドを見ながら説明を聞き、その後実際に入れてみることにしました。



まずはお手本を見せてもらい、どんな風に入れたらいいのかを学びます。それから1人1人実際にやってみます。真剣そのもので自分だけの一杯を入れていきます。



自分たちで入れた3種類のコーヒーを飲んでみて、最後にコーヒー当てクイズに挑戦。名前を告げずに飲んでみて味だけでコーヒーの名前を当てます。あれどれだっけ?。とはいえコーヒーを媒介として参加者同士ボランティアさんとも楽しくコミュニケーションできた1日でした。

* 編集後記 *

いよいよ北陸新幹線開業まで1ヶ月を切りました。東京までのアクセスが良くなる上、越後の湯沢を経由しなくなるので冬場の列車遅延や運行休止が少なくなるのではないのでしょうか。長野までも足を運びやすくなるので、旅行先の幅が広がって楽しみですね。

私の目下の夢は、夏の軽井沢旅行です。

(文責 北野)

編集人：特定非営利活動法人
自立生活支援センター一富山
連絡先：〒930-0024
富山市新川原町5-9
レジデンス新川原1F
tel 076-444-3753
fax 076-407-5557
郵便振替：00700-5-47253
自立生活支援センター一富山
発行人：北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312番地
定価：90円
年間購読料：360円